



伊豆中央ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第2688回例会

2023.7.11(火) 於:サンバレー富士見

2023-24

RI 会長 ゴードンR.マッキナリー ガバナー 中村皇積

会長 土田 哲 幹事 望月隆一

会報委員会 川合礼恵 武田友良 木内昭夫 望月良則

例会場 ホテルサンバレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈185-1

TEL (055)947-3100 FAX (055)947-0564

事務局TEL (055)976-6351 FAX (055)976-6352

URL www.izuchuo-rc.org

写真: 柿田川(伊豆半島ジオパーク)

会長挨拶

会長 土田 哲君



皆さんこんばんは。

本日の例会は、ガバナー補佐公式訪問です。本年度 静岡第1グループ 米山晴敏ガバナー補佐、原兄多ガバナー補佐事務局にお越しいただきました。お二人とも せせらぎ三島ロータリークラブのメンバーです。米山ガバナー補佐には後程、ご挨拶をいただきます。よろしくお願ひいたします。

先週、7月20日に伊豆の国市役所あやめ会館で、農業委員の任命式がありました。私も今年度から静岡県行政書士会の推薦を受けて農業委員の一人として市長より任命されました。私は代理人として伊豆の国市内の農地転用の許可申請を取り扱っていますので、最初は推薦を断ろうかとも思いましたが、これも職業奉仕の一つと思ってお受けすることにいたしました。

農業に携わる方や、土地開発に係わっている方には、なじみのある農業委員会ですが、一般には何をやっているのかよく分からない方も多いと思います。農業委員会は法律に基づき設置が義務付けられている行政委員会です。主な仕事として農地等の利用の最適化の推進、農地法に基づく農地の売買、賃借、転用案件への意見具申など農地に関する事務を執行いたします。以前は農業従事者や農協関係者だけで組織されていましたが、法律改正により我々行政書士や弁護士などを積極的に登用するようになりました。農地法は我が国の食料政策の大きな柱の一つです。私の所属している静岡県行政書士会では、県内各地に農地法に精通した会員がおりますので、農地のことで何かお困りごとがございましたら、お気軽に静岡県行政書士会にお問い合わせください。

それでは本日の例会もよろしくお願ひいたします。

ゲスト・ビジター

米山晴敏第1グループガバナー補佐(せせらぎ三島RC)

原 兄多ガバナー補佐事務局(せせらぎ三島RC)

出席報告

	出席総数	出席率	会員総数
今回	23/28	82.14%	28名

<欠席者>

・木内君 ・紀平君 ・古藤田君 ・小林(則)君 ・竹村君

会員慶事

入会記念日:長友範充君
望月隆一君 玉置敏君 中山博司君(7/11発表分)

奥様誕生日:土田君
結婚記念日:柴田三敏君(7/11発表分)

スマイル報告

●米山晴敏ガバナー補佐 本日は、補佐訪問で伺いました。貴重な例会の時間を頂きありがとうございます。がんばってお話をさせて頂きます。

●土田哲君 米山ガバナー補佐、原ガバナー補佐事務局、伊豆中央ロータリークラブへようこそ。本日はよろしくお願ひいたします。

●望月隆一君・土屋雄三君・長友範充君・原田精治君・石井政一君・土屋龍太郎君 米山ガバナー補佐、ようこそ伊豆中央ロータリークラブの例会にお越し頂きありがとうございます。1年間頑張ってください。(スマイル合計 ¥18,000)

(1)

改めまして、みなさん今晚は、今年度、第1グループのガバナー補佐を務めさせていただきます、せせらぎ三島ロータリークラブの米山です。今日は地区からの支援メニューと中村ガバナーからのメッセージをお伝えにお伺いしました。

今日は貴重な例会の時間を頂きましたので、口下手ですが、私の知るロータリーを全力でお話しをしたいと思います。特に令和になってご入会された11名の会員さんにご理解いただけるように頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

分区編成後5年。第1グループは長友補佐と3名の補佐が『伊豆半島のロータリーは一つ』

を目指して参りました。コロナが5類になった今、皆さんのお力をお借りして、第1グループのクラブ間交流に全力を注いでまいります。伊豆中央さんが幹事を引き受けて頂き、第1グループの今年度の会長幹事、次年度会長幹事、そしてガバナー、地区幹事を含めた交流ゴルフコンペが10月に決定しています。小さい一歩ですが、交流を少しずつ前に進めてまいります。ご協力をお願い申し上げます。



(2)

本年度・国際ロータリーRIゴートン会長のテーマ

『世界に希望を生み出そう』の説明をガバナー訪問時にして頂きます。私が中村ガバナーに『ガバナーのテーマは何ですか？』と問いました、ガバナーからは『RI会長の明確で私たちに勇気を与えてくれる、このテーマに補足はいらないと思います』と言われました。中村ガバナーの2620地区への思いを私から、お伝えさせていただきます。

(3)

私たちは、社会に大きなインパクトをもたらすことができるでしょうか。希望を生み出すことができるでしょうか。そのヒントは1923年の社会奉仕に関する声明『社会が本当に必要としていることに応え、高め合おう』から、始まりました。1940年にイギリスのロータリアンが国際的、文化、教育と交流を推進する会議を開き、ロータリーは一躍世界の舞台に躍り出ました、この際に撒かれた知的な種が、ユネスコの設立を促すことに、なりました。ロータリーはまた国連の誕生にも重要な役割を果たしました。1945年の国連憲章会議に、代表議員や顧問として50人のロータリアンが招かれました。

(4)

私たちは、社会が必要としていることに応えることで、社会はロータリーを必要な存在として、認めるでしょう。寄付された食料を生活困窮者に提供する、『フードバンク』の活動が、セーフティーネット、として、存在感が増す中で、支援要請に対応出来ないケースが出てきております。コロナでの雇用環境の悪化、物価高などで困窮者支援の需要が拡大しているためです。

地域に希望を生み出すことは、ロータリーにも同じ希望を生み出すことができます。

(5)

地区からの提案メニューとして、ご覧の3つがございます。一つは、希望を生み出す行動を起こそう。『グループ合同奉仕事業』です。伊豆半島のロータリークラブが一緒に行動することで、大きな成果を生み出すことが出来ます。第1グループでは、皆さんと地域のニーズをもとに、「フードバンク」を計画しています。地区ではこの奉仕事業に30万円の補助を行います。第1グループ全体と一緒に奉仕をしながら成果を共有していきましょう。二つ目は、地区エンドポリオキャンペーン。『古着でワクチン』です、後ほどご説明をさせていただきます。三つ目は、個人でも、みんなでも、行動しよう。『奉仕活動カレンダー、Rotary at work』これも後ほどご説明をさせていただきます。

(6)

ご覧の写真は「鉄の肺」です、この装置の中で一生を過ごした方がおいでです。1985年にロータリー史上最大の国際奉仕は、世界中の子供たちにポリオワクチンを投与するという、歴史的な活動が開始された事です。ロータリーが5億ドルと無数のボランティアを集めて、ポリオプラス・プログラムの創設をしたことです。今は、全世界の99%でポリオが無くなりました。しかし今、この取り組みを諦めてしまっても良いのでしょうか？子どもたちに希望を生み出す支援を続けていきましょう。

(7)

2023年の世界ポリオデーは10月です。各クラブやグループで毎年行なっている、キャンペーンを本年度も実施して頂きます様に、よろしくお願ひ致します。日本の34の地区では、合同でポリオ根絶のポータル・サイトを設けました。地区のホームページにもリンクを貼ってありますので、クリック一つで見ることが出来ます。昨年度の実績項目では、右上をクリックすると全国のポリオの取り組みを、見ることが出来ます、全国でどんなポリオ撲滅活動をしているのか、アイデアを参考にはいかがでしょうか？画面、真ん中のリソースをクリックしてください、ポリオとはどのようなウイルスなのか？ロータリーがこれまで、どのような取り組みをしてきたかが、わかる動画が掲載されています。クラブで、個人でご家族と一緒に共有していただけると幸いです。

(8)

今年度のポリオプラスは、初の地区統一行動として『古着deワクチン』を実施いたします。回収袋1つにつき、35人分のワクチンが子供達に届けられます。古着の整理と販売過程では、ポリオサバイバーを始めとして、社会的に弱い方々の雇用を生み出します。この活動はSDGsでもあります。お手数をおかけしますが、水谷公共イメージ委員長さん宜しくお願い致します。

(9)

私たちは、ロータリーカードを使うことで、社会に貢献することができます。しかし、個人的事情もあるでしょうから、無理なお願いをするつもりはございません。ご協力して頂きたいのは、クラブカードです。現在21のクラブでご利用して頂いております。クラブカードで人頭分担金のお支払に、ご利用を頂けないでしょうか。日本の全クラブが人頭分担金を、このクラブカードでお支払い頂ければ、利用額は年間8億9000万円となり、ポリオ根絶活動資金に270万円が入ります。もちろん年間費は無料です。

(10)

伊豆中央ロータリークラブさんにはカード導入をご検討して頂きたいと思います。導入する際のお手伝いや留意点は地区財団委員会からご説明をさせていただきます。地区のホームページからでも出来ます。

(11)

RIゴードン会長は、『私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界で良いことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法で、どこでも参加できるロータリーになること』と、おっしゃっています。このRIゴートン会長のビジョン達成のために。

(12)

2620地区では、個人でもいつでも参加し、社会に貢献でき、また期待以上の体験をし、ロータリーライフを楽しんで、頂けますように、地区のホームページに奉仕活動カレンダー「ロータリーアットワーク」を設けました。クラブの奉仕活動を登録をしてください。ロータリーアットワークの画面から簡単に登録することができます。クラブで奉仕活動をする場合に、山田奉仕プロジェクト委員長さんからカレンダーにご登録をお願い致します。登録により、他のクラブや個人からの参加希望があった場合には可能な限りお応え下さい。これにより私たちロータリアンは「つながり」を持ち、「体験をし」「アイデアを共有する」ことができます。また、近年では毎年のように自然災害が発生しています。地区では、災害時には地区ホームページにボランティア情報を掲載しますので、ロータリーを示す、帽子や着衣を身につけて、ご参加をお願い致します。

(13)

地区では、昨年度から国際奉仕のプラットホームづくりを準備してまいりました。世界に広がるロータリーのネットワークを通じて、希望を生み出すことができます。地区大会でいくつかの例を、ガバナーからご紹介をさせていただきます。

(14)

昨年度、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジアを管理する3350地区と2620地区は友好地区協定を締結し、双方が往来をして、信頼関係を構築して参りました。3280地区のフィリピンも同様です。8月5日のロータリー財団セミナーで、両地区のプロジェクト案の情報を共有します。

(15)

日本でも、国際奉仕に触れ、希望を生み出す、機会があります。海外留学生の受入を通じて世界理解、親善、平和の推進に貢献している、米山記念奨学事業を活用してください。伊豆中央ロータリークラブさんのように常に寄付上位クラブこそ米山記念奨学生を受け入れて欲しいと思います。受け入れる、入れないは別として、奨学金制度と事業を理解して頂くために、竹村委員長と米山奨学委員長のW卓話を考えてみたらいかがでしょうか？

(16)

ホームカミング制度を利用すると、かつて共にした留学生と再会することもできますのでご利用ください。

(17)

私たちロータリアンが共有するビジョンは『私たちは世界で、地域社会でそして地域社会で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています』ロータリーでは活動を積極的に取り組むことによって、自分自身の中に、希望を生み出すチャンスが用意されています。ロータリーライフをエンジョイしてください。楽しむことがロータリーです。楽しませる事もロータリーです。

(18)

毎月みなさの手元に届く、ロータリーの友です。ロータリーの友を愛読することで、世界の会員と共感することができます。「ロータリーの友」の活用は、クラブのみなさんのアイデア次第で決まります。有効にお使いください。例えば、新会員に毎月「ロータリーの友」の記事を紹介してもらい、感想を述べてもらうことで、新会員のロータリー観を涵養し、関心を高めることができます。その感想を聞いて、先輩会員の共感を呼び、「つながり」を実感することができます。いろいろな使い方を考えてみてください。

(19)

画面のラーニングセンターは、ロータリーのスキルアップと関心の喚起に欠かせません。ラーニングセンターでは履修した科目が確認できるほか、ポイント化されていて、楽しくロータリーを学べるようになっていきます。自分が関係している委員会やロータリーの中で、興味のある部分を覗いて見たらいかがでしょうか？土屋龍太郎研修委員長さんの豊富経験とロータリー知識に、このラーニングセンターを組み合わせれば鬼に金棒だと思います。

(20)

ロータリーリーダーシップ研究会、RLIに参加してみませんか？コミュニケーションを通じてロータリー観を涵養し、アイデアを共有するために、参加してみてください。特に5年以内に入会された方にお勧め致します。これは、ロータリーの為だけでなく、自分自身のスキルアップで社会や職場や地域でリーダーになるために本当に役立つと思います。土田会長のテーマ『思いやりの心を持ち他人を理解しようとする』このテーマにはうってつけのものだと思います。

(21)

会員増強は、目的ではありません、あくまでも手段です。目的は、私たちの、友情の輪が広がることにより、職業や地域社会の生活向上につながると信じております。7月29日の会員増強セミナーで課題や問題点を議論し増強の王道をクラブで実践して頂きたいと思っております。

(22)

画面は「静岡日本平ロータリークラブの会員傾向と年齢傾向を示しています。18～19年の42名から22～23年には27名に。15名、減少いたしました、原因は70歳以上の卒業生と若い世代の入会が減少したことです。その原因はコロナです。例会がない、ロータリー活動が出来ない、意欲の低下が原因でした。地区会員増強委員会を卓話に呼んでください、各クラブに合った増強や退会防止の話をさせていただきます。

(23)

全国、各地区で会員増強のための衛星クラブの勉強会が活発化しています。地区会員増強セミナーでは、既存クラブの未来を担う、衛星クラブ、とりわけファーム型と云われるモデルをガバナーからご紹介していただきます。

★この衛星クラブに興味のあるクラブには別途詳しく、ご説明の機会を作らせて頂きます★

(24)

今、2620地区はもとより、日本中のロータリーでは、せっかく入会しても入会后3年未満に辞める方が55%もいます。自分がロータリーに入ったばかりの時に、思っていたのとちょっと違うな、そんな時間を過ごした経験はありませんでしょうか？また、そのような理由で退会した人は、いませんか？ロータリーに入会后、ロータリーに馴染むまで、愛着を持てるようになるまでには、時間がかかります。新会員が関心を持てる、親睦、スキルアップ、奉仕プロジェクトを計画して頂き、仲間が出来た楽しさと、職業の幅が増える、地域から感謝されるような、ロータリー体験の機会を、クラブで提供をしてください。そんな、新会員の居心地と配慮に満ちたクラブ作りをお願い致します。

(25)

色々な表彰にガバナーをお呼びください。スケジュールが空いていれば、いつでもガバナーは駆けつけます。永年在籍者を地区では敬意を持って表彰させていただきます。クラブからのご推薦をお願いいたします。入会式にガバナーをお呼び下さい、新会員の記念になると思います。様々な方法で新しい仲間を歓迎してください。

(26)

結びに、

若い人の入会は非常に大切に、嬉しいものです。一方で長年、ロータリーの楽しみ方を知り尽くしている、ベテラン・ロータリアンから卒業生を出さない事も非常に大切なことだと思います。58年の歴史は一夜では出来ません。敬意ある対応をお願い致します。

ガバナーからの伝言があります

『8月29日のガバナー公式訪問では伊豆中央ロータリークラブの皆さんにお世話をおかけ致しますが宜しくお願いします』と伝言がありました。私たち地区リーダーシップチームは「まごころを添えて」雨宮パスト会長さんの名言『本気でやって、何が悪い』を側面からお手伝いさせていただきます。

1年間、よろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

